

経専医療事務薬業専門学校<くすり学科>の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

※専門的な基礎知識・技術を駆使した状態とは各コース別に下記の通りとします。

※社会人基礎力を磨いた状態とは「所属する医療機関または企業の方針や目的を理解したうえで、自部署および他部署スタッフと連携しながら、患者様やお客様ひとりひとりに合わせた対応をすることができる」こととします。

※重要な戦力とは、「配属場所の役割を認識し、業務効率の向上を自ら行い責任を持って後輩指導・育成ができる存在」とします。

【専門的な基礎知識・技術を駆使した状態】

<薬剤師アシスタントコース>

学校で学んだ専門的な基礎知識・技術を応用し、担当職種に必要な請求事務・医学・取扱医薬品の専門知識と医療スタッフの補助、患者様の介助技術を有し、健康と生命に携わっているという意識で対応できる。

<健康・医薬品アドバイザーコース、美容・化粧品アドバイザーコース>

学校で学んだ登録販売者に必要な医薬品及び美容・化粧品関連商品の専門知識と高い接客力を有し、健康と暮らしに携わっているという意識で対応できる。

■教育目標

本校は、就職3年後の姿を見据え「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。

【教育目標を達成するための具体的な修得目標】

<薬剤師アシスタントコースの専門職業力>

[知識面]薬学検定2級及び調剤事務管理士を取得し正しい薬の知識（薬の製剤を知り、一般名、先発・後発医薬品を見分けられる）を持って薬剤師のサポート（薬剤師の指示に迅速に対応できる事）並びに、保険調剤薬局において正しい点数算定ができること

[技術面] 基礎的な調剤補助実務（軟膏の充填、薬袋のセッティング、ピッキングができる）と調剤算定技術並びに患者及び業者への接遇技術を習得し、実際の現場で活用できること

<健康・医薬品アドバイザーコースの専門職業力>

【知識面】登録販売者の資格を取得しドラッグストアで医薬品のアドバイス（豊富な商品知識を持ちお客様のニーズに合った薬を提供できる事）ができること

【技術面】就職先となる業界の現場実習を経験して実践的な接客・販売（お客様に対する気配り、的確な対応、スタッフ間でのコミュニケーション力）ができること

<美容・化粧品アドバイザーコースの専門職業力>

【知識面】登録販売者の資格を取得とともに、美容・化粧品に関する知識を有しドラッグストアや化粧品販売部門でのアドバイス（豊富な商品知識を持ちお客様のニーズに合った薬を提供できる事）ができること

【技術面】就職先となる業界の現場実習を経験して実践的な接客・販売（お客様に対する気配り、的確な対応、スタッフ間でのコミュニケーション力）ができること

<社会人基礎力：全コース共通>

「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」を習慣化すると共に仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解しその為に必要なコミュニケーション能力を高めること

<高い職業意識と意欲：全コース共通>

目指す職業の「社会的意義」と「その魅力・遣り甲斐・厳しさ」及び「業界の変化に追従できるように常に向上心を持って知識のレベルアップを図らなければならない」という事を認識した上で「就業に対して主体的な意識を持って取り組める」ようになること

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、ディプロマポリシーに掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成し、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。教育目標にある現場力3要素を養成するため下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職としての基礎力とは、自身の専攻（目指す職種）だけではなく関連する業界（職種）全体が理解・把握できる力を兼ね備えている事だと考えます。その為に、各専攻の専門科目に業界（職種）全体を理解する為の科目を加え、その内容を関連団体・企業からなる教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は業界で求められるマナーの習得を基本とし、医療・薬業業界で求められるコミュニケーション力を養うため、ホームルームや講義を通じ業界スタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成の為に、学内での学びが業界でどのように活かされているのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整える為、外部講師による特別講話やインターンシップ（薬剤師アシスタントコース）、デュアルシステム（健康・医薬品アドバイザーコース、美容・化粧品アドバイザーコース）を取り入れたカリキュラムを編成します。それにより業界従事者としての意欲を高め、主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- 相手の立場を理解し敬意と感謝を持てる人
- 医療・薬業業界へ就職するために全力を注げる人
- 医療・薬業業界で即戦力として活躍するために高い向上心を持ち努力を惜しまない人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。